

## 会 議 録

会 議 名	令和5年度第1回野田市行政改革推進委員会
議題及び議題ごとの 公開又は非公開の別	1 令和4年度野田市行政改革大綱実施計画の取組状況について（公開）
日 時	令和5年11月9日（木） 午後2時から午後4時まで
場 所	市役所（低層棟）4階 委員会室
出席者氏名	<p>会 長 山本和也</p> <p>副会長 横川しげ子</p> <p>委 員 赤瀬川和枝、飯野友二、岡安誠人、小高正浩、中山正美、松本純子、望月秀嗣、谷田貝しづ子</p> <p>事務局 今村繁（副市長）、染谷篤（教育長）、中沢哲夫（水道事業管理者）、小田川豊（建設局長）、牛島修二（市政推進室長）、生嶋浩幸（企画財政部長）、大久保貞則（総務部長）、宮沢一弥（市民生活部長）、宇田川克巳（自然経済推進部長兼農政課長）、柏倉一浩（環境部長）、飯塚等（土木部長）、浅野開作（都市部長）、小林智彦（福祉部長）、須田光浩（健康子供部長）、富山勝之（教育次長兼生涯学習部長）、土屋孝之（学校教育部長）、金田昌丈（企画財政部次長兼財政課長）、中村正則（企画調整課長）、青山直樹（課税課長）、廣瀬康之（収税課長）、代田明洋（参事兼人事課長）、山本茂（参事兼行政管理課長）、松本正明（参事兼公共施設適正管理対策担当）、寺門洋行（総務課長）、小嶋亮（情報政策課長）、初見龍一（管財課長）、中村利夫（営繕課長）、森下元博（市民生活部次長兼防災安全課長）、小島修次（市</p>

	<p>民課長)、須賀良平(市民生活課長)、池澤孝之(みどりと水のまちづくり課長)、大月聡(清掃管理課長)、高橋康仁(土木部次長兼管理課長)、坂齊和実(道路サービス課長)、荒井哲也(下水道課長)、杉谷健次(用地課長)、内山忠則(都市部次長兼愛宕駅周辺地区市街地整備事務所長)、石塚武雄(参事兼梅郷駅西土地地区画整理事務所長)、中村正美(参事兼関宿地区土地地区画整理事務所長)、中山高裕(参事兼都市整備課長)、海老原純一(生活支援課長)、岡田勇貴(障がい者支援課長)、宮崎英雄(人権・男女共同参画推進課長)、山口忠司(高齢者支援課長)、内田一也(児童家庭課長)、武田真弓(子ども保育課)、安藤剛行(生涯学習課長)、廣居信和(学校教育課長)、皆川賢一(水道部次長兼業務課長)、田嶋秀志(行政管理課長補佐)、水越紀秀(行政管理課事務管理係主査)、田村和樹(行政管理課事務管理係主査)、鶴ヶ谷礼美(行政管理課事務管理係主事)</p>
欠席委員氏名	—
傍聴者	2名
議事	第1回野田市行政改革推進委員会の会議結果(概要)は、次のとおりである。
田嶋行政管理課長補佐	<p>1 開会</p> <p>令和5年11月9日午後2時、開会を宣言し、会議の成立について報告した。</p> <p>会議の公開及び傍聴並びに会議録及び会議資料の公開について説明した。</p> <p>会議録作成のため録音機を使用することについて了</p>

山本会長	<p>解を得た。</p> <p>議事進行を山本会長に依頼する。</p> <p>委員数10人のところ全員が出席し、委員の過半数が出席しているため、野田市行政改革推進委員会設置条例第6条第2項により会議が成立していることを報告する。</p> <p>傍聴希望者が有り、入室を許可する。</p>
山本会長	<p>《挨拶》</p> <p>議題 令和4年度野田市行政改革大綱実施計画の取組状況のうち、事務事業の見直しについて</p>
山本会長	<p>令和4年度野田市行政改革大綱実施計画の取組状況のうち、事務事業の見直しの内容について、事務局に説明を求める。</p>
山本行政管理課長	<p>《令和4年度野田市行政改革大綱実施計画の取組状況のうち、事務事業の見直しについての内容を説明》</p>
山本会長	<p>説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。</p>
飯野委員	<p>限りある財源の中で、自治体DX等の推進をいただいていることに、一市民として感謝したい。</p> <p>まず取組状況について質問する前に初歩的な確認をしたい。</p> <p>取組状況について、各部署の目標設定はどのようにしているのか。</p> <p>二つ目を取組結果の表に、丸、三角及びバツの評価の記載があるが、実施したものについて達成したから丸ということの良いか。</p> <p>また、この取組結果の丸、三角及びバツの評価はど</p>

山本会長	<p>のような基準で誰が評価しているのか。</p> <p>また、バツという評価が3項目あったが、実施しなかったということか、実施できなかったのか。できなかったのであれば、原因も含め各部署にフィードバックしているのか。できなかったもの、達成したものであってもまだ推進が必要であるもの、三角であれば当然推進しなければならない。そういうことも各部署は把握しているのか。検証して、達成に向けての対策は講じているのか。</p> <p>ただいまの質問について、事務局から説明をお願いします。</p>
山本行政管理課長	<p>まず目標設定について説明を求める。</p> <p>目標設定については、各部署で定めている。</p> <p>また、評価基準の丸、三角及びバツについてだが、3年度から4年度にかけ、2年続けてバツのものもある。</p> <p>現在は丸、三角及びバツという方法で評価しているところだが、数値目標にする等、検討していきたいと考えている。</p>
山本会長	<p>丸、三角及びバツは、各部署で評価しているということが良いか。</p>
山本行政管理課長	<p>丸、三角及びバツについては、各部署で評価している。</p>
飯野委員	<p>それをどのような基準で各部署が評価しているのか。取組状況を見ると、詳しく説明されているものもあれば、2行くらいで説明が終わっているものもあり、どのような基準としているのか。</p> <p>丸、三角及びバツについての基準が明確でなければ市民にとって理解しにくいと感じる。</p>
山本行政管理課長	<p>冒頭で説明したが、基準としては達成できたものが丸、未実施のものがバツ、達成できずとも一部でも取り組んだものには三角という評価をしている。</p>
今村副市長	<p>補足の説明をさせていただく。</p> <p>まず評価について実施の中で達成と記載があるが、</p>

	<p>基本的にこれらは継続的課題であり、どの部分が達成したのかということも不明確なものも多くある。いずれか実施をしたということで丸評価としているが、達成という言葉は少々不適切であると思っている。</p> <p>一朝一夕でできるものでないものも多くあり、複数年度にかけてそれなりに実施したということで一応丸としており、三角は設定した年間目標まで実施できていないものである。</p> <p>目標の設定についても具体的に数値目標等を持っていないので、どこまで実施できたのかは担当課の主観になっているところである。本来であれば、行政管理課でチェックを行い、適切に担当課と協議するべきものと思っている。先ほどの回答では、担当課が決めているということで、行政管理課のチェックが働いていないということになる。来年度以降についてははっきり改めていきたいと思っている。</p>
<p>中山委員</p>	<p>3年度と4年度の資料しか頂いていないが、二つの資料を比較したところ、同じ状況であっても片方は三角、もう片方ではバツの評価がされているものがあつた。課の中でどういう判断で評価しているのかが分からなかったのが1点である。</p> <p>また、先ほどの説明の中で、実施していないものがバツということであつた。2年以上前からかもしれないが続けてバツのものがある。このような会議の場で取り上げる目的として、バツが2年間も続いていることが課題として捉えているのであれば、何も実施していないことが何年も続いているのが一番の問題と感じる。</p>
<p>山本行政管理課長</p>	<p>御意見のとおり、実施できなかった案件を翌年度も実施できていないことについては、本来あってはならないことと考えている。行政管理課として在り方等の見直しを図っていきたいと考えている。</p>
<p>飯野委員</p>	<p>この評価については、各部署にフィードバックしているということで良いか。</p>

山本行政管理課長	<p>各部署が評価したものであり、副市長からも答弁があったが、それに対して行政管理課のチェックがよくできていない実態があるため、改善していきたいと考えている。</p>
飯野委員	<p>先ほどの答弁の中で、チェックが不十分であったという残念な発言もあったが、チェックした内容は各部署にフィードバックし、各部署の方は理解、納得しているのか。</p> <p>課としては丸評価だったが、行政管理課のチェックにより三角になったものなど、この資料を見ただけでは分からない。各部署にフィードバックし、各部署が理解しなければ、次年度の政策及び方策は講じられないと思う。</p>
山本行政管理課長	<p>各部署が行った評価については、本来であれば行政管理課で確認し、評価したものに対して協議して実施すべきであったが、各部署が行った評価に対して行政管理課では特に評価していないという状況である。</p>
飯野委員	<p>その辺については次年度はよろしくお願ひしたい。</p> <p>全庁を挙げて行政改革をしているのに、一部は理解していて、一部は理解できていないまま取り組んでいるという状況は、民間企業ではない。経過はいろいろあるだろうが、結果を出し、結果についてどうであったかフィードバックしながら全社を挙げて取り組んでいる。先ほどの回答では、取組が不十分であると感じる。事務局はよろしくお願ひしたい。</p>
中山委員	<p>各課で評価しているということについては構わないと思うが、各課の中で令和3年度に評価した基準と令和4年度の評価基準というのが、若干ぶれているように感じる案件もあった。各課の中での評価基準ができているのか。課の中で誰が評価しているのかを伺いたい。</p>
山本行政管理課長 中山委員	<p>各部署の部長の判断になる。</p> <p>各部の中で評価するための基準等があつて引き継がれているのか。所属長が変わると評価基準も変わると</p>

<p>今村副市長</p>	<p>ということがあるのか。</p> <p>そういう標準的な基準というものは、各課とも持っていないと思われる。</p> <p>この行政改革大綱での取組については定量的というよりは定性的なものが多く、またどこでゴールかというのなかなか難しい問題であり、客観的に実施することは難しい。評価についてもプロセスのところで努力を認められて達成になるようなものもある。先ほど申し上げたが、基本的には担当課長がその判断をして、部長と協議した上で提出されるものである。その後、行政管理課の方で全体的に確認し、各課に各部署にフィードバックしていくのが本来あるべき姿だと思うが、まだそのあたりが機能していない部分もあるので、しっかり直していかなければいけないと考えている。</p> <p>結局は評価についても、具体的な目標値というよりは、どういうプロセスで実施してきたのかというところを評価する部分も多くあるので、行政管理課と担当課との協議が必要だと考えている。</p>
<p>飯野委員</p>	<p>市民が勘違いする場合もあるので、次年度の取組状況を表す際には検討いただければと思う。</p>
<p>中山委員</p>	<p>数値だけで比較して評価している案件もあれば、項目だけで評価している案件もあった。取組状況を見ただけでは、どこを基準にしているのか判断しづらい。また数値目標があるものについては、その目標自体が適正なのか。目標自体が低くて達成になっているのではないか。その点をまず押さえなければ、評価するときでも差が生じると思う。目標設定に関しても各課の判断になるのか。</p>
<p>今村副市長</p>	<p>数値目標といえば徴収率等になる。基本的には担当課の方で目標を設定してやるわけだが、徴収率は財政にも大きく影響するので、重要だと考えている。</p> <p>目標率の設定についても先ほどと同じで、行政管理課との協議が必要だと思っている。</p>

<p>飯野委員</p>	<p>この目標値の設定については、ある程度現実的なものもあれば、なかなか達成できていないような希望的目標値を採用しているところもある。なかなかその目標を達成するのは難しい状況ではあるが、達成を目指して対策を講じていただきたいということで設定している。</p> <p>取組状況12ページ②の市税、使用料等の徴収率の向上についてだが、市税は98.30%、国民健康保険料は83.25%、水道料金は99.6%となっているが、かなり差があると思う。これは率ではなくて、額であればわかりやすいと思う。例として1,000万円の90%が900万円、100万円の90%は90万円、その差額は810万円となる。最終的な金額で表した方が市民には分かりやすく感じると思う。</p> <p>その点、子ども保育課の保育所保育料が、明確に人数や金額が記載されており、とても分かりやすいと感じる。</p> <p>市民にとっても分かりやすいような説明をお願いできればと思う。</p>
<p>今村副市長</p>	<p>分かりやすくというのは大事なことである。徴収率については、分母の額が毎年変わってくるので、金額でみると増えているが、実は効率が悪くなっているというようなこともあるので徴収率で表している。目標としては率が適当だと考えているが、例えば国民健康保険料でいうと、被保険者も減ってきている中で、全体の調定額が減っていても、これだけの金額が徴収できた等、市民に分かりやすいような工夫をしていきたい。</p>
<p>飯野委員</p>	<p>プライマリーバランスを考えると、今はまだ野田市はプラスだから良いが、そういったことを踏まえて財政状況等を市民に分かりやすく説明していただきたいと思う。</p>
<p>小高委員</p>	<p>実施したから成果が上がっていなくても丸評価というのはいかがと感じた。他の自治体の評価、行政財政</p>



<p>中山委員</p>	<p>効果を見ている中で、たまたま新潟県糸魚川市の評価を見つけた。評価の区分で、取組が進み成果が上がったというもの、取組は進んだけれども成果が不十分だったというのを分けて評価をしていた。こういった評価方法も参考となると思ったので報告する。</p> <p>ただ、評価の負担が余りにも大きくなってしまうと行政の負担が大きくなり、そこにパワーを削がれてしまつては本末転倒だと思うので、バランスは大事であると思う。</p> <p>負担がかかることに関しても、数値目標を付けていればリアルタイムで数値の目標が出るので、いつ何が問題だったかフィードバックできると思う。</p> <p>今回の会議は11月だが、今の段階で今後の取組をやったとしても、今年度は終わりに近く、反映されるのは令和5年の終わり頃になると思う。</p> <p>今のうちに数値化できるものだけでも数値化しておけば、常に結果は出るので、年度始まりのときに今後の取組に関して、どう実施していくかという話をした方がより効果的だと思う。</p> <p>どんな項目で実施しようと数値化は難しくないと思っている。</p> <p>数値が出れば、リアルタイムで課の中で共有できるから、数値化の検討と、こういった会議は年度が始まって1か月くらいのときに実施した方が効果的なように感じる。</p>
<p>山本行政管理課長</p>	<p>昨年度の取組状況について、通常8月頃に実施していたものだが、非常にスケジュールが遅れてしまい申し訳ない。次回からはなるべく早期に開催できるように調整していきたい。</p>
<p>岡安委員</p>	<p>限られた人員とお金の中で、創意工夫して市政を進められていることに敬意を表し、感謝したい。</p> <p>総括表2ページ、民間活力の有効活用の中で、3行目に保育士確保という観点からという言葉と、中段ぐらゐに学童保育所においては指導員の継続雇用に課題</p>

<p>山本会長</p> <p>武田子ども保育課長</p>	<p>があったという言葉が出てきて、人の採用が難しいということである。</p> <p>行政としての人の確保について、今後二、三年の見通しをどのように考えているのか。</p> <p>2点目として、総括表2ページの中段にまた野田市こども館supported by kikkoman（野田市立児童センター）がオープンしたということだが、現在の雰囲気伺いたい。</p> <p>3点目として、総括表3ページ行政サービスの在り方の検討に記載のある、令和4年12月に開設したおくやみコーナーについて同様に雰囲気を伺いたい。</p> <p>4点目として、総括表4ページに野田市開発協会のゴルフ場について報告が出ている。スポーツ施設も野田市開発協会に管理してもらっているが、その評判等について、この機会に伺えれば野田市スポーツ協会にもフィードバックをしていきたいと思っている。</p> <p>5点目として、全国的に北の方、山の方でクマが出没していると聞く。山崎地区の知人に聞いたことがあるが、4キログラムほどのアライグマを捕獲したと言っていた。総括表5ページにもカミツキガメをたくさん捕まえたという話が出ている。</p> <p>その知人は、野田市の中でも有名なフィールドワークの専門家であり、話を伺うとアライグマだけではなく、鹿もいると言っており、今後増えていくのだろうなど感じている。</p> <p>その点について、行政としては増やさないようにと考えていると思うが、どのような対策を考えているのか伺いたい。</p> <p>順番に伺う。</p> <p>まず、保育施設の人員について担当者に説明を求める。</p> <p>待機児童対策の保育士確保という観点について、保育所に関しては0歳から5歳までの子供がおり、保育士の人数については、配置基準が決まっていることか</p>
------------------------------	---

<p>今村副市長</p>	<p>ら保育士がいないと子供の受入れができなくなり、待機時間に繋がってしまう状況である。市内に26園の保育所があり、そのうち9か所が公立保育所で、9か所の中でも3か所が直営である。残り6園が指定管理者で、設置は市だが、民間事業者が運営している状況である。</p> <p>直営保育所に関しては、保育士採用となれば正規職員として市の職員として採用することがある。その他民間園については、合同就職説明会を年2回ずつ開催しており、人員確保について対策を講じている状況である。</p> <p>年度後半になると待機児童も増えてくるので、そちらの解消に取り組む見通しで計画している。</p>
<p>山本会長</p>	<p>待機児童対策としての保育士確保について、保育所の指定管理者導入を保留しているというのは、結局民間事業者の保育士の賃金レベルがかなり低いことで、保育士の確保が難しいことに比べて、直営の場合は、民間と比べると正職の給料がまだ高いので確保しやすいという観点から、当面この待機児童対策のために直営を保留しているという意味である。保育士確保策については就職説明会等いろいろなことを実施しているが、やはり年度の後半は待機児童が増えてきて、保育士不足が相変わらずなのも事実である。各市で取り合いになっており、特に東京都等は賃金も高いので、東葛地域から出て行ってしまうということもある。この保育士確保策についても、相当難しい課題だが、指定管理者あるいは民間事業者とも協議していろいろな対策を講じていかなければならないと思っているが、成果という意味ではなかなか難しい状況である。</p>
<p>内田児童家庭課長</p>	<p>学童保育所指導員の継続雇用について、担当者に説明を求める。</p> <p>学童保育所指導員の継続雇用に課題があったということについて説明する。</p> <p>会計年度任用職員制度が始まる以前は、短時間の職</p>

<p>今村副市長</p>	<p>員等については、任用期間後に半年空けなければならなかったことが課題であり、令和4年に会計年度任用職員制度が導入されたことで、継続的に任用が可能になった。修正資料でも説明しているが、会計年度任用職員として市で継続的に任用できるようになったことから学童保育所の直営化を目指すという方向性を示したところである。</p> <p>補足だが、会計年度任用職員制度の前は地方公務員法に基づき臨時職員として任用しており、臨時職員については1年を超えて任用することができなかった。どの程度の期間を空ければいいのか問題もあったが、先ほどあったように半年間空けて任用していたり、実際には人が集まらないということで一日、二日空けて任用していたり、実質的には継続任用になっていたということで組合との話し合いもつかないので、継続任用も可能な社会福祉協議会に委託し、第2学童保育所という形で始めた経緯があった。会計年度任用職員制度ができ、1年単位での更新となるが、実質的な継続任用が可能となったということで状況は大きく変化している。</p>
<p>山本会長</p>	<p>児童センターの評価について、担当者に説明を求める。</p>
<p>内田児童家庭課長</p>	<p>子ども館の雰囲気であるが、利用人数については、令和4年の4月から10月末までで65,539人の参加来客者があった。今年度同時期で68,682人の参加来客者があり、昨年度と同じぐらいの人数であった。市内と市外の人数では、令和4年度が市内約55,000人、市外約10,000人、今年度が市内約53,000人、市外約55,000人であった。</p> <p>子供たちや来館した方からの感想としては、これだけの施設を無料で使えるというのは有り難いと感想を頂いている。</p> <p>また事業内容については、地域ボランティアの方や地元企業などの体験イベントの提供、子供たちが主体</p>

<p>山本会長</p> <p>小島市民課長</p>	<p>となってイベントなどを実施しているので非常に人気であると意見を頂いている。</p> <p>以前から設置していた子ども館6館と同じ指定管理制度を導入していることから、事業のフィードバック等を行い、6館で連携しながら共通のイベントの実施しているので、引き続き周知等に努めていきたい。</p> <p>おくやみコーナーについて担当者に説明を求める。</p> <p>また、以降は時間の都合上、簡潔な説明を求める。</p> <p>昨年12月に開設したおくやみコーナーについては、午前10時、午後1時30分、午後3時の1日3枠の相談枠で体制を整備している。</p> <p>亡くなられた方のその手続に関して、事前予約制とし、電話予約の際に聞き取り等を行うことで、来庁までに各課で必要な届出書や申請書を印刷して準備し、亡くなられた方の住所や氏名を何度も書くことがないように努めている。</p> <p>利用状況については令和4年12月15日から開設し、令和4年度の実績で176件の相談を受けており、令和5年度については、4月から10月末現在で370件の相談を受けている。今後の取組として、毎年12月から冬場の時期は、亡くなられる方が多くなる傾向なので、一日当たりの相談枠3枠を最大5枠で対応できるように準備を進めている。</p>
<p>山本会長</p> <p>宇田川自然経済推進部長</p>	<p>開発協会のスポーツ施設及びアライグマについて、担当者に説明を求める。</p> <p>野田市開発協会のゴルフ場の収益等記載しており、その他に都市公園の維持管理業務委託と、野田市総合公園の指定管理者をお願いしている。</p> <p>評判であるが、窓口対応等の慣れている部分では、すぐに対応してもらおうということはあるが、やはり苦情も多くあり、誠意ある対応と親切丁寧な対応をするよう職員にいつも指導している。</p> <p>次にアライグマだが、市内でも増えており、担当はみどりと水のまちづくり課で対応しているが、農家関</p>

	<p>係では農政課も対応している。アライグマの捕獲は年間200匹から300匹で、箱罠を市民に無料で貸し出し、処分は市で対応している。また現在では、県が監視カメラ付きの箱罠を市内に設置して、アライグマが集中して営巢している環境を見つけようと調査及び分析をして、繁殖地と予想される箇所を徹底的に対応している。</p> <p>その他、鹿等も市に報告されており、現在はイノシシが頻繁に目撃されている。猟友会の方々に協力いただきながら市内の見回りを行い、捕獲や駆除を行っている。また市民への周知として、まめメールの配信等に取り組んでいる状況である。</p>
<p>須田健康子ども部長</p>	<p>先ほどの児童センターの件で一部補足する。</p> <p>児童センターの件で、来場者数が令和5年度全体で68,682人で、市内の方が53,054人で、市外については先ほど約55,000人と言ったが誤りで、市外の方は15,628人である。</p> <p>また児童センターは、非常に良い雰囲気である。オープンして1年経過するが、オープン当時にいろいろな団体から寄附を頂き、1周年記念でもお力添えを頂き、お陰様で1周年記念も盛大に行えた。日頃の様子としては、親子同士の交流の場になっていることや、児童センターの方たちが相談に乗ってくれている。問題があるケースについては、子ども家庭総合支援課の心理士や相談員が相談に乗ったという実績もある。</p> <p>寄附していただいたピアノを毎日子どもが弾いている等、保護者、子供たち、職員等の雰囲気も非常に良いということで、市外からの利用者から羨ましいという話も伺っている。</p>
<p>谷田貝委員</p>	<p>関宿町と野田市が合併して20年が経過した。令和4年度野田市行政改革大綱実施計画取組状況の6ページに、関宿中部幼稚園については、令和5年度に募集する令和6年4月入園の応募人数等により閉園を検討するとあるが、その結果は出ているのか。</p>

<p>武田子ども保育課長</p>	<p>入園希望者の減少が著しいとあるが、希望者が少ないのか、子供自体が少ないのか、その点を伺いたい。関宿南部幼稚園はもう10年も前から閉園が検討されてきて、令和5年に閉園になったのは確認しているが、南部の人も関宿中部幼稚園に行っていると思う。ここで閉園になったら関宿地区から公立幼稚園がなくなってしまうと思ったので伺いたい。</p> <p>幼稚園に関しては、学校教育課で所掌していたが、組織の見直しにより一本化し、子ども保育課で行っている。</p> <p>私立幼稚園の応募時期の後に公立幼稚園の応募時期が来る。実際には地区ごとの子供の数というのは幼稚園だけではなく、保育所に関しても当然減ってきている状況である。</p> <p>保育所に関しては、就労要件等もあり、コロナ禍が明けてということもあるかと思うが、人数が伸びてきている。その分幼稚園が減っているのかどうかという分析も現在行っているところである。一概に何人いるから閉園するといった簡単な形では考えていないが、やはり事情があって、公立幼稚園を希望される方もいる。関宿地域には私立幼稚園の関宿幼稚園があるが、全ての園児を受け入れられるかという話も当然あるので、慎重に検討を進めているところである。報告できる状況になれば報告させていただきたい。</p>
<p>今村副市長</p>	<p>公立幼稚園については、少子化が進展して、民間の幼稚園も園児の獲得に相当苦勞しているということで幼稚園協会と市で話し合いを続けてきた。その中で、民業圧迫は市の望むものではない。</p> <p>公立幼稚園については、野田幼稚園も含めて民間の私立幼稚園等が受け入れてくればその役割を終えるだろうと思っている。</p> <p>発達障がいや、障がい児の方の受入れが私立の幼稚園では難しい部分もあり、私立と比べて野田幼稚園や関宿中部幼稚園には多く来園しているということもあ</p>

	<p>る。そのため、障がい児の方たちを民間で受け入れられるような体制を作っていかなければいけない。基本的には先生の確保の点にあると思っている。</p> <p>関宿中部幼稚園については、人数がもう1桁になっており、団体保育という点では非常に難しくなってくる。そのため、6年度の募集で、数人しか来ないというようなことになれば真剣に考えなければいけない。</p> <p>関宿地区については子供の人数も減ってきている。幼稚園についてはバス送迎もあるので、なかなか関宿中部幼稚園については人数が増えるということは考えにくい。そのときに障がい児教育も絡めて幼稚園協会と協議し、市民や議会とも相談するような形になると思う。</p>
<p>谷田貝委員</p>	<p>やはり人数が減ったら経営が成り立たないのが実情なので、それは納得せざるを得ないと思う。</p> <p>令和4年度野田市行政改革大綱実施計画取組状況17ページ、使用料等の負担の適性化にある市民火葬料というところが未実施になっている。これも10年以上前から有料化の話が出てきていて、市外の火葬料の改定は令和2年7月1日から行われ、同じ人を火葬するのにこんなにも違うのかと思った。私たちが思うに、やはり有料化は絶対必要で、早い時期に必要なと思う。</p> <p>安かろう悪かろうでは、せつかくの最後のときがどうにもならない。もし有料化するなら関宿や野田の火葬場の料金を変えるのか。料金が一緒なら有料化にして、待合室等を綺麗にしてもらうのも良いことだと思う。よろしくお願いしたい。</p>
<p>飯野委員</p>	<p>先ほど話が出たおくやみコーナーについては、非常に良い評判である。</p> <p>身の回りにも亡くなった方は大勢おり、どうしたらいいか相談を受けると、おくやみコーナーのことを伝えている。対応職員も増員されて、非常に良い評判である。</p>



望月委員	<p>団体への補助金について質問したい。</p> <p>コロナにより3年間補助金を給付した団体においては、行事の縮小や中止で、繰越金が多く残っていると聞いている。</p> <p>それに対し、今後の補助金の交付金額等について、市の対応はどのようになるのか伺いたい。</p>
平野財政課長補佐	<p>補助金については、市の立場として、団体を支援する立場で見直しを行うということと、削減の必要がある場合は、当該団体と協議をし、十分理解を得た上で改革を実施すること。また補助金の拡充や新規補助金についても、当該団体の活動を積極的な姿勢で評価した上で、その必要性を判断するなど、全ての見直しは市民サービスの維持充実に寄与することが基本であると考えている。先ほどの繰越金の話だが、令和4年度に課題や問題点の洗い出しやヒアリングを実施している。今年度については洗い出された課題や問題点を元に、各補助金が事業費補助であるのか、運営費補助であるのか、留保財源をどのように解決していくか、整理と課題の検討を進めている状況である。</p>
中山委員	<p>令和4年度野田市行政改革大綱実施計画取組状況7ページのゴルフ場の件で、今後の課題で職員給与9%削減が続いているが、現在世の中はこういう動きではない。利益は上昇しているわけだが、これを続けて人材が本当に確保できるのか。なぜ9%という数字なのか。全体が給料削減のときならいいが、国を挙げて動いているときにこのような取組をしていることが一点。</p> <p>また、ゴルフ場で利益が出ており、市の使用料の猶予、全額免除等を行っているが、実際これらの免除を全てやめたときに、このゴルフ場自体は黒字になるのか赤字になるのか。</p>
宇田川自然経済推進部長	<p>職員給料9%削減の前提として、経営の健全化という形で、開発協会の方が資産的にも壊滅的な状況になったときに、支出を抑えなければならなかったため行</p>

	<p>った経費削減の政策である。</p> <p>借地料では、地権者の協力で借地料を3割削減させていただいており、当時の開発協会におけるゴルフ場職員の給与が他のゴルフ場と比較して非常に高かったため、人件費についての話が上がり、地権者に協力していただくには、身を切らなければならないということで職員たちの合意のもとに9%削減を行っており、現在も継続している状況である。</p> <p>赤字解消の部分であるが、現時点の話で、この11億3,000万円の償還という黒字の中で分割して返済して払えば解消できるが、今後について協議中しているところである。</p> <p>そのほかに借地料3割の削減を続けていくのか、借地料自体を見直すのかの段階に来ており、今のこの削減方策をしない場合、開発協会の経営は難しい状況であると考えている。</p>
<p>中山委員</p>	<p>以前にも意見として出したが、そういう状況であればゴルフ場自体にこだわらず、毎週月曜日に貸し出すなど、副収入を得るような検討もできるのでは。なぜかという、科学博物館もクラウドファンディングを行っていたり、東京国立博物館も国立なのに一つの棟をフランスの衣料品メーカーに貸していたりする。国立でも自分たちのできることを行おうとしている。ゴルフ場自体は、2023年度は全国でも4件ほど無くなっているし、今であればドローンの練習場競技場が各市にできている。週に一回ドローンの試験勉強に貸してあげるなど検討していかないと、ゴルフ人口の減少環境になった際、次のステップへ行くことできないと思うので、検討だけでもしていただきたい。</p>
<p>宇田川自然経済推進部長</p>	<p>ゴルフ場の他の活用方法については、残地部分を含め検討しているところである。先ほどの補足だが、地権者の借地料削減が続いている中で順調に推移してきているのは、ゴルフ人口がある程度増えてきており、それが維持でき、評判も良い中で住民の協力もあるた</p>

<p>今村副市長</p>	<p>めだが、ゴルフ場経営が黒字で成り立っていて、借金の返済も少しかつ終わるので、資金的には落ち着いてくる状況である。</p> <p>開発協会理事長は私であるが、楽観的な状況ではなく、先ほども徴収猶予の話があったが、この額が10億円を超えているので、返済していくと非常に厳しい状況である。ゴルフ人口も当初予定していたよりも皆様元気で利用していただいているが、2030年には団塊の世代が皆80歳になるので、もう数年すると非常に厳しい状況にもなるものと考えている。中山委員の意見も含めて、他の利用等あらゆることを検討しなければならない。幸いなことにゴルフ場自体の運営は今のところ順調ではあるが、変わってくるのは明白だと考えている。今後の運営については、副市長の立場でもあるがしっかり協議していかなければならないと考えている。</p>
<p>中山委員</p>	<p>いろいろな形で検討されるという話であるが、検討に当たっては、市民の中でもノウハウを持っている方は何人もいると思うので、松戸市や霞が関でも行っているように、プロフェッショナルボランティアのような知見等を持っている方と勉強会を行えるような制度があると良いと思う。私も霞が関の官公庁に呼ばれ、ボランティアのような形で民間事業者としての考え方を伝えたりしている。</p>
<p>山本会長</p>	<p>財政の健全化にも関与するが、市民の中から各分野のノウハウを持っている方で、無償で協力してもらえらる方と一緒に検討することで、より良い知恵が出ると考えている。</p>
<p>山本行政管理課長</p>	<p>令和4年度野田市行政改革大綱実施計画の取組状況のうち、組織等の見直し及び公共施設等の適正な維持管理について、事務局に説明を求める。</p> <p>≪令和4年度野田市行政改革大綱実施計画の取組状況のうち、組織等の見直し及び公共施設等の適正な維持</p>

	<p>管理についての内容を説明≫</p>
山本会長	<p>説明があった内容について、各委員に質疑及び意見を求める。</p>
飯野委員	<p>令和4年度野田市行政改革大綱実施計画取組状況20ページの附属機関について確認したい。</p>
山本行政管理課長	<p>審議会によって公募委員の定数が決まっております、定数に満たない場合が出てきていると思うが、その場合の充足はどのようにしているのか。</p>
山本行政管理課長	<p>公募委員充足率だが、4月1日現在、附属機関数27機関で定員が59人となっている。現在の公募委員は52人で、充足率は88.14%である。</p>
飯野委員	<p>応募者が一人もない場合には、再公募を実施している。</p>
山本行政管理課長	<p>私も公募委員だが、公募委員が誰もいない場合か。</p>
飯野委員	<p>2人のうち1人しかいない場合は1人だけになるのか。行政改革推進委員であれば10人のうち2人となっているが、踏まえて説明いただきたい。</p>
山本行政管理課長	<p>公募委員がいない附属機関は現在ない。</p>
今村副市長	<p>全く応募がなかった場合には、市民目線での意見を頂けないので再公募を実施しているが、本来2人が定員であるところ1人という場合はある。</p>
今村副市長	<p>1人であった場合に、なぜ再公募しないかということに関しては、期間を設けて公募した結果なので、再度すぐに応募しても難しいだろうという判断で1人の委嘱としていた。</p>
今村副市長	<p>公募委員についても随時見直しをしなければと考えている。本日の委員会でもそうだが、公募委員の方には、審議会で積極的な意見を頂いているので、なるべく参加の機会を増やしていけるよう考えていかなければならない。</p>
飯野委員	<p>また若い方からの応募がないため、その点も含めて検討したい</p>
飯野委員	<p>公募委員0人という審議会がないように是非進めて</p>

<p>中山委員</p>	<p>いただきたい。</p> <p>応募したときに思ったが、一つに応募するとほかには手を挙げられない。充足していないというのがあるのだから、委嘱ではなく、先ほど話したようなプロフェッショナルボランティアのような形にし、ノウハウを複数持っている人もいますので、二つや三つぐらいまでは応募できると良いと思う。</p> <p>また名前も公募委員ではなく、プロフェッショナルボランティア等のかっこいい名前にし、若い人を呼ぶ方法もある。</p>
<p>今村副市長</p>	<p>できるだけ多くの市民に参加してもらって趣旨で兼任は認めていないが、応募が少ない部分もあるので、検討する時期に来ていると考えている。</p> <p>名前については、市長が日頃から日本語を大切にするようにと話しているので、英語表記は難しいと考えている。</p>
<p>岡安委員</p>	<p>公共施設等の適正な維持管理について、施設の劣化は建物で、空調機器はエアコンになると思う。例としてマンションの修繕計画だと、エアコンは大体自分持ちなので修繕計画に入らず、給水、排水、外壁、管等になると思うが、管回りではなく、空調機器に特化して取り上げた経緯を伺いたい。</p>
<p>松本公共施設適正 管理対策担当</p>	<p>建物外壁、屋根、管等については施設の劣化状況の中で、全体を把握するという考え方で実施している。</p> <p>御質問の空調機器についてだが、平成28年、29年頃に学校空調を一斉に整備したが、フィルター清掃が一番重要なところである。目詰まりをすれば当然効率も悪くなり、電気代も高くなり、ランニングコストに問題が出る。空調機器にも相当負荷がかかることからフィルター清掃を推奨している。</p> <p>学校の場合、各教室に1台から2台ずつエアコンが設置されており、フィルター清掃が完璧にできていない事案があった。学校に限らず施設ごとにフィルター清掃や保守点検を実施していくが、一番重要なフィル</p>

<p>飯野委員</p>	<p>ター清掃については年2回を基本とし、必ず実施するため営繕課で一括して発注している。常に空調機器については負荷がかからないようにし、少しでも寿命が延びるよう方針に従い、特出しして実施している経緯がある。</p> <p>先ほどの空調については、小学校の体育館の方にも是非お願いしたい。</p>
<p>山本行政管理課長</p>	<p>令和4年度野田市行政改革大綱実施計画取組状況21ページの定員の適正化について、会計年度任用職員の任用はとても良いと思う。</p> <p>経験や知識が豊富な方を任用されていると聞いている。</p> <p>現在は24部署51人を採用しているが、今後どのくらいまで広げるのか。処遇や対応も含めて伺いたい。</p> <p>また、私はこれまで別の会議で意見してきて、洪水ハザードマップの見直しに係る説明会にも参加してきた。</p> <p>防災、減災についても気象防災アドバイザーを会計年度任用職員で任用しているが、近隣に東京理科大学もあるわけだから、大学教授であった方や、警察官であった方、自衛隊OBの方等、プロフェッショナルになると思うが、採用は考えているのか。</p>
<p>今村副市長</p>	<p>会計年度任用職員については、窓口対応や集計業務等の正規職員でなくてもできる業務は、会計年度任用職員に引き続き切替えを行っているところである。恐らく100人程度にはなると考えている。</p> <p>また待遇についてだが、フルタイムの事務員については10年間の昇給制度や退職手当を設けており、給与面でも他市と比べて魅力的なものになっている。</p> <p>会計年度任用職員の活用であるが、定年延長制度が今年度に定年を迎える職員から適用され、今後65歳まで伸びていく。定年延長職員が相当な数増えていくこととなる。そうなると人件費が相当上がっていく。定年延長については、希望しているのにお断りすること</p>

	<p>はできないので、そういう中で会計年度任用職員を上手に活用していくことになる。更に定年延長職員で職員数が増えるので、正規の若い人の採用を控えてしまうと組織的に大きな問題が生じてしまうということで非常に現在悩んでいる。会計年度任用職員の有効性は認識しているが、定年延長制度や職員採用の問題と、従来の再任用職員も併せて配置している状況である。定数条例も変えなくてはいけないため、どのような形にするか悩んでいるところである。</p> <p>また自衛官については、既に採用している。</p> <p>気象予防アドバイザーに次いで、警察OBの方も、6年度から採用する予定で、県警の方と調整をしているところである。</p> <p>自衛隊OBの方は、会計年度任用職員として既に採用されているのか。</p>
<p>飯野委員</p> <p>山本行政管理課長</p>	<p>自衛隊OBの方は、会計年度任用職員ではなく、任期付職員で任用しており、正規職員と同様の待遇となっている。</p>
<p>中山委員</p>	<p>先ほどベテランの方や、定年延長職員の話があったが、実際には人口が縮小してくるので、生成AI等をいかに市の業務の中に取り入れるかを今から考えなければすぐには対応できないと思っている。そういった検討を市の中だけではなく、ノウハウを持った方にボランティアとして来てもらい、勉強会等で少しずつでも進めていかなければ、せっかく始めようと思ったときには有識者が辞めてしまっており、ノウハウが全然残っていないこともあり得る。窓口は全てAIになるかもしれないし、インターネットで申請したら全てAIで処理することになるかもしれない。市の職員だけではなく、ノウハウを持っている方と勉強しながら、同じ市の中で職員と住民が連携し、上手なやり方を見いだしていけば、若い人の興味も引くと思う。</p>
<p>今村副市長</p>	<p>市長ともよく話をしているが、職員だけでは発想が限られてしまうこともあるので、やはり職員以外の意</p>

<p>飯野委員</p>	<p>見を頂くというのは非常に大事なことだと考えており、検討はしているところである。</p> <p>先ほど副市長からあったように、定年延長制度が始まるが、60歳の定年で辞められると財産的にもったいないと思う。経験のある知識豊富な方を、民間事業者でも時には70歳まで延長している企業も出てきている。新規採用も含めてではあるが、勘案いただき、立派な財産を失わないようお願いしたい。</p>
<p>岡安委員</p>	<p>令和4年度野田市行政改革大綱実施計画取組状況20ページの行政需要の変化に対応する随時見直しの実施について、鈴木貫太郎記念館建設に向けた準備体制の強化を図るとあるが、鈴木貫太郎記念館建設に向けた準備は、現在どのような状態か。</p>
<p>牛島市政推進室長</p>	<p>鈴木貫太郎記念館の建設準備に向けては、今年4月から市政推進室内に準備担当として4人の専属職員を配置している。</p> <p>具体的には、建設準備委員会を立ち上げ、今年度、基本構想を策定中である。同時に最も重要な建設に向けての資金調達等についても基金、寄附、今後クラウドファンディングを検討しながら、なるべく早期の建設に向けて動いているところである。</p>
<p>谷田貝委員</p>	<p>鈴木貫太郎記念館に関連するが、記念館の隣の関宿あおぞら広場のキャンプ場は、なぜ無料なのか。関宿あおぞら広場のキャンプ場は、他県の方が8割以上使っており、できれば有料にして大事に使ってもらい、それを鈴木貫太郎記念館に充てることも可能ではないかと地元の人たちから意見があった。</p>
<p>今村副市長</p>	<p>鈴木貫太郎記念館建設については、単なる記念館としてではなく、観光拠点としても位置付けていく方針で、建設準備委員会で基本構想の策定を行っている。</p> <p>財源の問題が一番重要とあったが、国の補助金を活用しながら関宿北部地区の再編の計画を立て、関宿あおぞら広場や鈴木貫太郎記念館を含め、その他の再編も位置付けていかなければならないと考えている。単</p>



<p>飯野委員</p>	<p>純に鈴木貫太郎記念館だけを再建しても集客は難しいと考えているので、他の資源も活用していきたいと思っている。</p> <p>質問ではないが、正午から13時に市役所に来た際、自席で食事をしている方がいた。その方は昼休みに休めているのか。昼休みも来庁者が来るので対応しなければならないし、逆にこちらもそういう方に声を掛けづらい。以前8階にあったレストランを10時から14時まで開放する等して、職員の食事の場所としてはいかがか。一生懸命に市民のサービス向上のために働いているので伺いたい。</p>
<p>山本行政管理課長</p>	<p>職員の食事場所については、出前の利用や弁当を持参する職員もいるので、自席で取ることも可能としている。</p> <p>また自席以外の場所では、8階のオープンスペースや地下の休憩スペースが利用できる。</p> <p>来庁される方の対応については、課税課、市民課、福祉の部署等は、交代で昼当番を担当している。</p>
<p>山本会長</p>	<p>他の意見を求めるが、意見無しであったため、令和4年度野田市行政改革大綱実施計画の取組状況の内容について、了承とすることを問う。</p> <p>《異議無しの声》</p>
<p>山本会長</p>	<p>その他について、各委員に質疑及び意見を求める。</p>
<p>中山委員</p>	<p>冒頭にも話したが、会議で出た結論が反映されるのが遅いと思う。</p> <p>やはり数値化してリアルタイムで把握しながら6月頃に方針を決めなければ、次年度に反映されないと思う。その点、検討してスピーディーにやってほしい。数値化もできないのではなくて、数値化しようと思えばできる。それは民間事業者の知恵でも借りればよい</p>

<p>飯野委員</p>	<p>と思う。</p> <p>また、未実施が2年続くことがやはり気になる。</p> <p>取り上げた以上未実施は許されるのか。2年も3年も許されるなら取り上げること自体がおかしい。取り上げなくてもいい案件なら、わざわざ取り上げる必要もないと思う。</p> <p>令和4年度野田市行政改革大綱実施計画の取組状況については、数えると65項目あり、達成が30、一部達成が31、未達成が4であった。話にあったように、数値で表せないこともあると思うが、工夫すれば数値化できる。数値化が一番分かりやすい。民間事業者ではノルマがあり、棒グラフで表していた。これからも人口動態や人口推計を鑑みながら、これからの自治体DXや市民サービスの効率化を図り、協働していければと思う。</p>
<p>山本会長 山本行政管理課長</p>	<p>その他、連絡事項の有無を事務局に求める。</p> <p>次回の開催は未定だが、開催時期が近づいたらお知らせする。</p>
<p>山本会長</p>	<p>午後4時3分、閉会を宣言した。</p>